2027年６月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年11月13日

上場会社名　株式会社アスア　上場取引所　東 名
コード番号　246A　ＵＲＬ　https://www.asua.ne.jp
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）間地　寛
問合せ先責任者　（役職名）常務取締役管理本部長　（氏名）植村　恒明　ＴＥＬ　052（452）5588

配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　：有

（百万円未満切捨て）

１．2027年６月期第１四半期の業績（2026年７月１日～2026年９月30日）

（１）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年６月期第１四半期	402	11.3	42	84.2	43	80.6	29	74.3
2026年６月期第１四半期	362	△0.4	23	△49.0	23	△2.6	16	181.5

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年６月期第１四半期	11.37	11.06
2026年６月期第１四半期	6.29	6.17

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年６月期第１四半期	1,320	1,055	79.9
2026年６月期	1,328	1,039	78.3

（参考）自己資本　2027年６月期第１四半期　1,055百万円　2026年６月期　1,039百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年６月期	－	0.00	－	7.00	7.00
2027年６月期	－				
2027年６月期（予想）		0.00	－	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年６月期の業績予想（2026年７月１日～2027年６月30日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,475	1.0	143	6.0	144	5.7	81	△4.9	31.90

（注）１．直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
２．当社は年次での業績管理を行っておりますので、第２四半期（累計）の業績予測の記載を省略しております。

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：無
④　修正再表示　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年６月期１Ｑ	2,701,700株	2026年６月期	2,701,300株
②　期末自己株式数	2027年６月期１Ｑ	135,000株	2026年６月期	135,000株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2027年６月期１Ｑ	2,566,365株	2026年６月期１Ｑ	2,658,536株

※　添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．経営成績等の概況（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
（３）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8
（重要な後発事象の注記） …… 8

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第１四半期累計期間における我が国の経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善などにより緩やかな回復傾向にあるものの、物価上昇の継続に加え、不安定な国際情勢や金融資本市場の変動等、先行き不透明な状況が継続しております。

当社の主力顧客である物流業界におきましては、燃料費や人件費などのコスト上昇に加え、配送ドライバーを中心とした慢性的な人手不足が継続しており、依然として厳しい事業環境が続いております。また、2025年４月１日に施行された「物資の流通の効率化に関する法律」及び「改正貨物自動車運送事業法」（いわゆる「新物流２法」）への対応を背景として、安全管理体制の強化やコンプライアンス対応への取り組みが進展しております。

このような中、物流事業者における管理業務の高度化・効率化ニーズが高まっており、当社が提供する物流アウトソーシングサービスへの需要は堅調に推移いたしました。

このような事業環境のもと、当社は「深化-既存事業の強化」「拡張-新たな事業の創出」「経営基盤の強化」の３つを成長戦略の柱として掲げ、各施策に取り組んでおります。

これらの結果、当第１四半期累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高：402,895千円（前年同期比11.3%増）
営業利益：42,554千円（同84.2%増）
経常利益：43,168千円（同80.6%増）
四半期純利益：29,169千円（同74.3%増）

主力の物流アウトソーシングサービス及びネットワークソリューション事業が堅調に推移したことに加え、AI活用等による業務効率化や原価改善などの収益性改善施策が奏功し、増収増益となりました。また、ノンコア事業の整理による経営資源の集中と収益構造改善も利益成長に寄与いたしました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①モビリティソリューション事業

物流アウトソーシングサービスの訪問型サービス「TRYESサポート」及びクラウド型サービス「TRYESレポート」が堅調に推移した一方、データソリューションサービスにおいて前事業年度に撤退した受託開発案件の売上が前年同期に含まれていた影響により、モビリティソリューション事業の売上高は225,515千円（前年同期比0.1%減）となりました。一方で、物流アウトソーシングサービスにおけるAI活用等による業務効率化や原価改善が進展したことにより、セグメント利益は91,712千円（同18.3%増）となりました。

②ネットワークソリューション事業

顧客事業所内で使用されるビジネスホン等の販売が好調に推移したことに加え、粗利率の向上が寄与した結果、ネットワークソリューション事業の売上高は140,467千円（前年同期比7.8%増）、セグメント利益は30,996千円（同36.8%増）となりました。

③その他

事業撤退を決定したノンコアビジネスとして、主にDental関連のシステム開発等を対象としております。今期中の事業終了に向けた顧客対応等に伴う追加受注が発生したことにより、売上高は36,911千円（前年同期比520.3%増）、セグメント利益は2,686千円（前年同期は1,366千円の損失）となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第１四半期会計期間末の資産につきましては1,320,934千円となり、前事業年度末に比べ7,691千円減少いたしました。この主たる要因は、売掛金及び契約資産が10,357千円増加した一方、現金及び預金が10,498千円、商品が6,938千円減少したこと等であります。

（負債）

当第１四半期会計期間末の負債につきましては265,517千円となり、前事業年度末に比べ23,344千円減少いたしました。この主たる要因は、その他流動負債が33,584千円増加した一方、株主優待引当金が20,000千円、賞与引当金が17,468千円、契約負債が10,832千円、未払法人税等が6,391千円減少したこと等であります。

（純資産）

当第１四半期会計期間末の純資産につきましては1,055,416千円となり、前事業年度末に比べ15,652千円増加いたしました。この主たる要因は、利益剰余金が11,205千円、その他有価証券評価差額金が4,268千円増加したこと等であります。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年６月期の業績予想につきましては、2026年９月14日の「株主優待額の増額および業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、当該業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

２．四半期財務諸表及び主な注記

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （2026年６月30日）	当第１四半期会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	578,644	568,146
売掛金及び契約資産	214,166	224,523
電子記録債権	1,573	306
商品	24,077	17,139
貯蔵品	142	124
その他	15,504	19,792
貸倒引当金	△105	△112
流動資産合計	834,003	829,920
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	149,206	151,753
その他（純額）	81,220	82,414
有形固定資産合計	230,426	234,167
無形固定資産	41,370	37,917
投資その他の資産		
その他	223,499	219,602
貸倒引当金	△673	△673
投資その他の資産合計	222,826	218,928
固定資産合計	494,622	491,014
資産合計	1,328,626	1,320,934

（単位：千円）

	前事業年度 （2026年６月30日）	当第１四半期会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	40,274	42,408
１年内返済予定の長期借入金	6,000	3,000
未払法人税等	11,653	5,262
契約負債	66,055	55,223
賞与引当金	38,600	21,131
株主優待引当金	20,000	－
その他	78,565	112,149
流動負債合計	261,149	239,174
固定負債		
長期借入金	18,750	18,000
その他	8,962	8,342
固定負債合計	27,712	26,342
負債合計	288,861	265,517
純資産の部		
株主資本		
資本金	231,830	231,919
資本剰余金	201,580	201,669
利益剰余金	667,422	678,627
自己株式	△97,143	△97,143
株主資本合計	1,003,688	1,015,072
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	36,075	40,344
評価・換算差額等合計	36,075	40,344
純資産合計	1,039,764	1,055,416
負債純資産合計	1,328,626	1,320,934

（２）四半期損益計算書

（単位：千円）

	前第１四半期累計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第１四半期累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
売上高	362,054	402,895
売上原価	223,739	239,820
売上総利益	138,314	163,075
販売費及び一般管理費	115,209	120,520
営業利益	23,105	42,554
営業外収益		
受取利息	715	804
商品券等受贈益	－	479
為替差益	461	－
その他	208	104
営業外収益合計	1,385	1,388
営業外費用		
支払利息	279	99
支払手数料	303	－
為替差損	－	653
その他	0	21
営業外費用合計	582	774
経常利益	23,908	43,168
税引前四半期純利益	23,908	43,168
法人税、住民税及び事業税	316	3,333
法人税等調整額	6,860	10,665
法人税等合計	7,176	13,999
四半期純利益	16,732	29,169

（３）四半期財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期累計期間（自　2025年７月１日　至　2025年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期損益計算書計上額（注）３
	モビリティソリューション事業	ネットワークソリューション事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	225,823	130,279	356,103	5,951	362,054	－	362,054
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	225,823	130,279	356,103	5,951	362,054	－	362,054
セグメント利益又は損失（△）	77,512	22,663	100,175	△1,366	98,809	△75,704	23,105

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にDental関連のシステム開発等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第１四半期累計期間（自　2026年７月１日　至　2026年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期損益計算書計上額（注）３
	モビリティソリューション事業	ネットワークソリューション事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	225,515	140,467	365,983	36,911	402,895	－	402,895
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	225,515	140,467	365,983	36,911	402,895	－	402,895
セグメント利益又は損失（△）	91,712	30,996	122,708	2,686	125,395	△82,840	42,554

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にDental関連のシステム開発等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第１四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第１四半期累計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第１四半期累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	5,861千円	6,976千円

（重要な後発事象の注記）

該当事項はありません。